

実務教員授業科目一覧

キャンパス	学部	区分	科目名	単位数	担当者名	授業概要
目白 西生田	家政学部 理学部 人間社会学部	教養特別講義	教養特別講義 2	1	篠原 聡子	学問における真理の探求と人間形成とを不可分とする、創立者成瀬仁蔵先生教育理念のもとに設けられた「実践倫理」を原点とする必修科目である。社会のあらゆる分野の第一線で活躍する様々な講師（民間企業、NPO法人理事等）を招いて講演を聞き、質問を通してその講演者との意見交換を行う。現代を生きる女性のキャリアを十分に伸ばすことに重点を置いたテーマを設け、そのテーマに沿った講演が行われる。また、本学が果たしてきた歴史的役割を知るため、3年次は各自で成瀬記念館の見学を行う。
目白	家政学部 文学部 理学部	キャリア形成科目	ライフプランとキャリアデザイン	2	高橋 美紀	授業担当者は一般企業での勤務経験があり、現在は中小企業診断士、社会保険労務士として活動している。ライフプランやキャリアデザインを設計するためには、社会環境や企業に関する理解が欠かせない。社会や企業において女性がどのような状況に置かれているか、大学時代からその現状や背景を理解することが重要である。授業では、女性のライフプランやキャリアデザインに関連させながら、経済社会や企業組織の仕組み、現状や課題について、ゲストスピーカーとして外部から招く専門家や卒業生の講話、担当者自身の企業や職業上の経験も交えながら解説する。
	社会に出るための自己表現		2	吉良 俊彦 砂子 一雄	【吉良クラス】 授業担当者は広告会社での勤務経験、会社設立経験を持つ。社会に出るとは、どういうことなのだろう。それは学生ではないということだ。では“学生と社会人の違い”って何なのだろう。これを知り、学び、考えられるようになれば、社会への入口は開く。つまり、就職試験という難関を突破することができる。ただ、未来は就職で決まるわけではなく、やりたい事の途中で就職はある。まず自分自身をしっかり分析することが大切だ。“学生と社会人の違い”って何だろう。この授業においては、授業担当者自身の勤務経験、会社設立経験を踏まえ、受講者とともに、この大きな命題について考察してゆく。学生は“同じ常識、限りなく類似している常識を持つ人が友人関係を作り、そこでコミュニケーションしていく場だ。だから、常識が変われば仲間が変わってゆく。社会は“異なる常識を持つ人々が、互いにコミュニケーションをしてゆく場だ。”だから自分が周りと合わせていなければならない。この授業では、社会で通用する“コミュニケーション力”についての、スキルアップを目指す。  【砂子クラス】 40年近くの広告代理店勤務と現在も広告関係の会社を経営しているコミュニケーションのプロとして、実践的な「伝え方」を一定の方法論や各種メソッドを使いながら紹介。なるべく具体的事例と演習を交えた講義で、少しでも受講者のコミュニケーション能力向上に寄与していきたい。また就職活動や実社会で直面するであろう自己プレゼンテーションに役立つ現場情報や効果的アピール方法も適宜披露し、キャリア形成に役立つ授業を目指したい。	
	インターンシップI		1	澤田 美砂子他	将来の自己のキャリアデザイン設計に向けて、職業観を育て、自己の適性や可能性をさぐるきっかけとなるような質の高い就業体験となるインターンシップを行う。講義/セミナー形式の事前指導により、インターンシップに参加するにあたり必要な事項を事前に学修する。事前指導を踏まえて、現場での就業体験を行うとともに関連する知識を習得する。事前指導、インターンシップを経て、自らの体験をプレゼンテーションとしてまとめ発表し、他参加者と共有することで、経験を深め、自己のキャリアビジョンを明確にする。	
	インターンシップII		2	澤田 美砂子他	将来の自己のキャリアデザイン設計に向けて、職業観を育て、自己の適性や可能性をさぐるきっかけとなるような質の高い就業体験となるインターンシップを行う。講義/セミナー形式の事前指導により、インターンシップに参加するにあたり必要な事項を事前に学修する。事前指導を踏まえて、現場での就業体験を行うとともに関連する知識を習得する。事前指導、インターンシップを経て、自らの体験をプレゼンテーションとしてまとめ発表し、他参加者と共有することで、経験を深め、自己のキャリアビジョンを明確にする。	
	女性と身体		2	小笹 由香・ 辻 美千子・ 新田 真弓	女性の体や心は、人生の中で様々な変化をすることがあります。それらを受けとめ、受け入れ、女性として生きていくことがとても大切です。この授業では、医療者である助産師・看護師・歯科医師・認定遺伝カウンセラー、患者や家族の立場など多様な立場から、思春期・妊娠・出産・更年期・高齢期の女性の一生を通じて起こる心身面での課題とそのケアについて解説します。特に、現代若年女性の問題や女性特有の疾患、妊娠や出産、そして出生前診断などの生命倫理に関する問題など、女性として生きていく人生に役立つことを取り上げます。毎年履修者が多いため、講義形式となります。授業担当者は、医療者であり、医療に関わる実務経験を踏まえ、助産師・看護師・歯科医師・認定遺伝カウンセラー、患者や家族の立場など多様な立場からお話しした中で、みなさんが考えていただき、講義後にリアクションペーパーを書くことで、自身の考えをまた振り返っていただいています。	
	地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト演習 B		2	中西 裕二・ 田井中慎	授業担当2名のうち1名は現在、企業経営者である。本科目では、地域・企業の具体的な課題をテーマとし、その課題解決をPBL型の授業（Project Based Learning）で実施するものである。今回は山梨県内の企業の協力のもと、地域と企業の課題解決について考える。	
	仕事・結婚・わたし		2	北島 歩美	授業担当者はカウンセラー（公認心理師、臨床心理士、家族心理士）である。近年、アイデンティティは関係性の中で構築されると言われている。特に女性はライフサイクルを考えるときに結婚、出産、介護など他者との関わりを避けて通れない。授業では、自分、家族、社会というシステムについて説明する。自分自身を捉える視点を持ち、家族ライフサイクルについて考えることによって、今後の人生で生じる様々な課題と対処できる力を養う。授業担当者はカウンセラーとしての経験を活かし、受講者それぞれが、自己理解、家族システムの理解、社会変化への理解を深めることによって、自分自身が望むライフプランをイメージできるようになることを目指す。	
	ライフステージと法		2	丸山 冬子・ 柳原 由以	授業担当者は弁護士である。この授業では、人が生きて行く上で、一生の間に出会うであろう法律問題（就職・結婚・出産・離婚・相続・消費者問題等）の基礎知識を身に付けることを目的とする。弁護士としての実践を活かし、幾つかの具体的な事例の紹介や、その対応策の議論や、解説を行う。	
	NPOとNGO		2	土屋 真美子	授業担当者は長くNPOに勤務し、現在は認定NPO法人などいくつかの団体の理事をつとめている。社会課題は地域の弱いところに現れ、行政がすぐには課題に取り組みることができない場合が多い。多くは、まず課題に気づいた市民が解決に向けて取り組み始める。そういう活動をサポートするのがNPOという仕組みで、NPO法ができて20年を超え、NPOという名称も一定の市民権を得ている。福祉分野、環境分野、子供関連の分野等、ほとんどの分野で、NPOは一定の役割を果たしている。その一方で、実態についてはまだ知られていない。そこで、この授業では、NPOについての基礎知識を共有するとともに、NPOは何のために、何を指して活動しているのかを学ぶ。具体的な活動については、NPOの一端で働くゲストを招き、現場ではどうやって社会課題に気づき、自ら動き、共感する人を増やし、活動を展開させていくかを学ぶ。NPOやNGOについての知識を得ることが目的ではなく、自分自身で課題に気づき、考え、課題を解決するために何をすればいいのか、行動するきっかけを掴んでもらえればと思っています。	
	現代ビジネスと起業		2	奥山 睦	授業担当者は起業家である。自ら事業をおこし、実践する実務家としての視点から主に以下の点について考え学びを深める。 ・日本経済の現状と労働環境について考える。 ・世界的な働き方の潮流を見つめながら、女性のキャリア形成について考える。 ・「働き方改革」について理解する。 ・企業で活躍する方や創業者（OGも含む）が、どのような働き方をしていたかという話から、働き方の選択肢のひとつに「起業」があり、学生時代及び就職後のキャリア形成について理解する。	

実務教員授業科目一覧

キャンパス	学部	区分	科目名	単位数	担当者名	授業概要
西生田	人間社会学部	キャリア形成科目	ライフプランとキャリアデザイン	2	高橋 美紀	授業担当は一般企業での勤務経験があり、現在は中小企業診断士、社会保険労務士として活動している。 ライフプランやキャリアデザインを設計するためには、社会環境や企業に関する理解が欠かせない。社会や企業において女性がどのような状況に置かれているか、大学時代からその現状や背景を理解することが重要である。授業では、女性のライフプランやキャリアデザインに関連させながら、経済社会や企業組織の仕組み、現状や課題について、ゲストスピーカーとして外部から招く専門家や卒業生の講話、担当者自身の企業や職業上の経験も交えながら解説する。
			社会に出るための自己表現	2	尾方 僚	【尾方クラス】 授業担当は就職情報会社勤務経験、独立しての研修・採用コンサルタントとしての経験を持つ。 社会生活を送る上で必要不可欠であるコミュニケーションスキル。コミュニケーションからプレゼンテーションという流れで実社会に出るために必要な「表現する方法」を「バーバルコミュニケーション」（言語コミュニケーション）、「ノンバーバルコミュニケーション」（非言語コミュニケーション）、アクティブリスニングなどにわけ実習を通じ自己表現を学ぶ。 また実習ではディスカッションやグループワークも。これらを通じ、社会に必要なチームワーク、タイムマネジメントなども理解する。研修・採用コンサルタントとしての視点も交えながら多様な自己表現の方法を学ぶ。
			インターンシップI	1	澤田 美砂子他	将来の自己のキャリアデザイン設計に向けて、職業観を育て、自己の適性や可能性をさぐるきっかけとなるような質の高い就業体験となるインターンシップを行う。講義/セミナー形式の事前指導により、インターンシップに参加するにあたり必要な事項を事前に学修する。 事前指導を踏まえて、現場での就業体験を行うとともに関連する知識を習得する。 事前指導、インターンシップを経て、自らの体験をプレゼンテーションとしてまとめ発表し、他参加者と共有することで、経験を深め、自己のキャリアビジョンを明確にする
			インターンシップII	2	澤田 美砂子他	将来の自己のキャリアデザイン設計に向けて、職業観を育て、自己の適性や可能性をさぐるきっかけとなるような質の高い就業体験となるインターンシップを行う。講義/セミナー形式の事前指導により、インターンシップに参加するにあたり必要な事項を事前に学修する。 事前指導を踏まえて、現場での就業体験を行うとともに関連する知識を習得する。 事前指導、インターンシップを経て、自らの体験をプレゼンテーションとしてまとめ発表し、他参加者と共有することで、経験を深め、自己のキャリアビジョンを明確にする。
			地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト演習 B	2	中西 裕二・田井中慎	授業担当者2名のうち1名は現在、企業経営者である。本科目では、地域・企業の具体的な課題をテーマとし、その課題解決をPBL型の授業（Project Based Learning）で実施するものである。今回は山梨県内の企業の協力のもと、地域と企業の課題解決について考える。
		展開科目	人体の構造と機能及び疾病	2	本田 学	授業担当は国立精神・神経医療研究センターで医療に関わる実務経験を踏まえ、医学一般の基礎知識を身につけ、医療における基本的な考え方を理解することを目標にその基盤となる人体の構造や機能についての解説を行う。さらに疾病や障害の内容について、福祉および心理の分野において必要とされることを中心に概略的な解説を行う。この授業では社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の国家試験範囲を包含した医学知識について主に講義を行うが、医療・健康・食品・運動関係などに興味のある方にも参考になるとと思われる。
			情報科学基礎IV	2	久保 進次	インターネットはデスクトップコンピュータ、タブレット、携帯電話端末等を通じ、様々な情報の伝達に便われ日常生活に根ざしている。情報を受け取る形でインターネットを利用するだけでなく、情報を発信する事もまたインターネットの利用の方法である。授業担当はコンピュータソフトウェア会社での実務経験を踏まえ、本授業では、インターネットの情報発信技術を学び、またwebページの企画・デザイン・制作を通じ、公開可能なwebページを作成し、インターネットで価値のある情報発信を経験する事を目的とする。
合計単位数	自白キャンパス		家政学部 文学部 理学部	20		
合計単位数	西生田キャンパス		人間社会学部	14		